

のんびり散策。美里町を思いっきり満喫してみよう！

美里町ガイドマップ

れんしょうどう 蓮生堂 B-2

町の北西部を流れる小山川西岸の熊谷公会堂の裏手にあり、「熊谷次郎直実公の遺骨が埋葬されている」と伝えられています。安永元年(1772)に書かれた「武乾記」には「下見玉村之内熊谷に熊谷次郎直実の墓あり・・・」とあり、真偽は不明ですが、直実公の墓が下見玉の熊谷の地にあると伝えられていることがわかります。



鎌倉街道 D-2



鎌倉時代に幕府のある鎌倉と各地を結んだ道路網で、美里町にも鎌倉から群馬県へ抜ける経路があります。これらを整備し、鎌倉から関東諸国、あるいは遠く信濃、越後、陸奥方面に通じた主要な道であったと言われています。町を東西に横断しており、街道沿いに大道北、海道南、市場など街道にまつわる古い地名が残されています。また、大仏地区から広木地区の集落に至る道と旧県道との交差点から、旧見玉境の一里塚遺跡に至る道筋については、2つのルートが伝承として残されています。

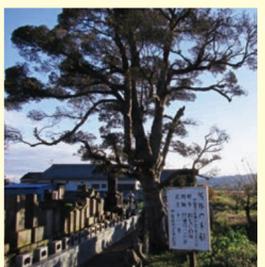
寺戸の榎 D-1 町指定文化財



美里町と本庄市の境にあるこの榎は、樹齢約700年。昔、榛沢村の伝兵衛が力を授けてもらいたくて十二天〜21日間の丑の刻参りをしました。さらし一反の端を鉢巻にし、長い布の先が土につかないように走り続けました。満願の日、神のお告げがあり、力を授けられ大喜びで下山すると、榎の木まで鉢巻をしたままでいるのに気づき、これを幹に巻きつけて帰りました。以来、この木は伝兵衛榎と呼ばれています。



町指定文化財 新井の木斛 B-3
美里町阿那志字新井の楽師堂の墓地にあり。幹の太さは直径2.6メートル、高さは約12メートルで、樹齢は約700〜800年といわれています。



B-3 彼岸花(志戸川沿い)
志戸川や天神川では、9月下旬から10月中旬になると彼岸花(曼珠沙華)が群生し、河岸を真っ赤に染め上げます。



C-3 秋蚕の碑
明治時代、富岡製糸場の初代増長の尾高信忠が、秋も養蚕をするように奨励しました。これを秋蚕といひ、松久村に住む深沢豊次郎は、率先して取り組みました。その後、日本全国で春・夏・秋の養蚕が行われるようになり、日本の蚕糸業の発展に寄与しました。



D-4 ハス
日中友好のシンボルとして1997年に中国から日本に贈られました。7月中旬から8月下旬の見ごろを迎えると、直径20cmほどのピンクの花を咲かせます。町内では甘粕の「長岡池」をはじめ数箇所で栽培されています。



C-3 真東寺
四国八十八ヶ所霊場の「お砂踏みのできる寺」として多くの観光客が訪れます。全霊場のミニチュアが境内につくられており、ここをお参りすることで四国霊場を巡拝したのと同じ霊験・功德が得られるといわれています。



ハイキングコース(あずまや) F-2

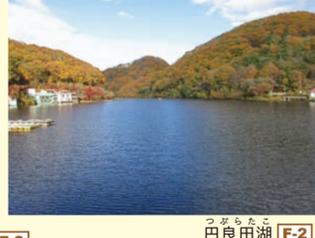


カタクリ F-2



円良田地区内のハイキングコースではカタクリが群生し、3月下旬頃には紫の可憐な花を咲かせます。

円良田湖 F-2



サイクリング・ハイキングコース

陣見山コース	虎ヶ岡コース
陣見山湖コース	鐘撞堂山コース
陣見山サイクリングコース	ウオーキングロード

〇 町役場
 ◎ 警察署・交通
 〇 消防署・消防出張所
 〇 郵便局
 〇 学校
 〇 工場
 〇 神社
 〇 寺院
 〇 花の見どころ
 〇 城跡
 〇 史跡
 〇 ブルーベリー観光園
 〇 ゴルフ場

官公庁等のご案内 (市外局番0495)

名称	所在地	電話番号
美里町役場	木部323-1	76-1111
コミュニティセンター	甘粕343	76-3431
遺跡の森総合公園	木部574	76-0204
警察・東見玉駐在所	下見玉1239-6	76-1178
警察・大沢駐在所	白石1195-5	76-0442

美里町歳時記

月	行事
6月	上旬 ブルーベリー摘み取り(早生種・7月中旬まで)
7月	中旬 ブルーベリー摘み取り(晩生種・8月下旬まで) 下旬 ハスの園の獅子舞
8月	中旬 陣見山公園の道祖神焼き 15日 猪俣の百八燈 美里夏まつり花火大会
9月	下旬 彼岸花(10月上旬まで)
10月	中旬 陣見山公園の獅子舞
11月	中旬 陣見山公園の道祖神焼き
12月	11日 陣見山公園の道祖神焼き
3月	下旬 カタクリ(4月上旬まで)

※古墳群等遺跡の範囲・詳細については、美里町教育委員会事務局社会教育係(遺跡の森 76-0204)にお問い合わせ下さい。